

③ 町のしりょう館をたずねて



「ほかの古い道具についても、もっとしらべてみたいなあ。」

しゅんくんが言うと、先生が



「大内分校の近くに、大内町並み展示館という建物があって、むかしの生活用具が、そのままの形で大切にのこされています。しかも、大内宿は、会津と江戸（今の東京）を結ぶ会津西街道の宿場の一つで、そのころのようすが今でも大切にのこされていて、国の文化財になっています。大内宿全体がむかしのようすをつたえる大切なところなんですよ。」

と、説明してくださいました。

先生のお話をきいて、みんなで大内町並み展示館へ行ってみることにしました。



しりょうかんはか
やぶき屋根のどつ
しりとしたつくり
です。入り口を入
ると、中にたくさ
んのどうぐがおか
れていました。

▼大内町並み展示館



▲大内宿

道の両わきに、かやぶき屋根の家がならんでいます。